



宇治田原町
2016年3月31日

はじめに

日本遺産「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」として
認定された湯屋谷地域の茶畑や茶問屋の街並み。
永谷宗円の品格と情緒を感じられる生家。
そんな「日本緑茶発祥の地」である湯屋谷地域。
今回、京都府が進める「お茶の京都」事業で定めた
戦略的拠点のマスタープランの取り組み事業として
湯屋谷地区の賑わい創出や地域活性を目的とする
「ゆんたん未来プラン」が誕生しました。
地域住民の声と専門家が協働し交流人口の拡大、
移住定住促進にむけた未来予想図です。

Contents

- P.02 **はじめに**
- P.03-04 **お茶の京都マスタープラン**
- P.05-06 **ゆんたんワークショップについて**
- P.07-08 **ゆんたんワークショップのまとめ**
- P.09 **ゆんたん未来プラン全体像
～4つの谷の暮らし～**
- P.10-13 **茶工場跡地 にぎわいづくり像**
- P.14 **茶工場跡地 活用平面図**
- P.15 **今後の展望と提案**
- P.16 **ゆんたんでらんたん賑わいイメージ**

「お茶の京都」における交流拠点の基本方針

戦略的な交流拠点づくりやお茶をテーマにした広域観光・交流促進・地域活性化事業を進めます。

永谷宗円生家を中心とした地域（湯屋谷エリア）を「お茶の京都」の重点的交流拠点として整備します。



湯屋谷地域に関する戦略づくり

住民のみなさんが地域の魅力を再確認し、誇りを感じることができるような地域づくりを目指すために、今後地域が進むべき方向性を明確にした上で戦略づくりを行い、住民のみなさんに周知、共有していきます。

主な実施事業

- 「お茶の京都」湯屋谷地区交流拠点整備構想策定（実施主体：湯屋谷区・町）【実施年度：27年度～】
- 宗円生家の管理形態（実施主体：湯屋谷区・宗円さんの里づくり会）【実施年度28年度～】
- 看板・茶の木の設置（実施主体：町・湯屋谷区）【実施年度：28年度～】
- 特産品の開発（実施主体：湯屋谷区・宗円さんの里づくり会）【実施年度：28年度～】
- 体験プログラムや周遊ツアーの造成
【実施年度：28年度～】（実施主体：町・湯屋谷区・宗円さんの里づくり会・宇治田原町いいとこ案内人の会）
- 散策マップ作成（実施主体：町・湯屋谷区）【実施年度：28年度～】
- 地域イベントの実施（実施主体：湯屋谷区・宗円さんの里づくり会）【実施年度：28年度～】
- 駐車場の整備（実施主体：町・湯屋谷区）【実施年度：28年度～】
- NHK「ゆく年くる年」に出演（実施主体：町・湯屋谷区）【実施年度：28年度～】



湯屋谷地域(ゆんたん)の未来の姿を
このプランでもっと具体的にみなさんと共有します。

湯屋谷地区(やんたん)の未来を描くために、地域住民を主体としたワークショップを開催。多様なメンバーが集まり、地域の活性化やありたい姿についてイメージを膨らませた。

【実施内容】

日時：2016年2月27日(土) 19:30～21:30

場所：湯屋谷会館

参加：湯屋谷地区の住民の皆さん有志(参加募集制)

内容：① 国内旅行のトレンドデータ共有

② 街づくりの方向性や仕組み、ニーズについて

③ 他地域の活性化事例紹介

- ・奈良県天川村の「縁側を使った集客プロジェクト」
- ・和歌山県有田市の「廃倉庫を活用したラブラックカフェ」
- ・長野県大町市の「武蔵野林業・森のくらしの郷」
- ・愛知県足助町の「老人力を生かす仕組み・ジジババ工房」など

④ やんたん未来プランのコンテンツ提案

⑤ 地域住民による、湯屋谷の地域資源出しワーク

⑥ 地域住民による、未来プランのプレゼンテーション

宇治田原町ワークショップ開催のお知らせ

やんたんの未来予想図を描こう!

たんたんと流れていく毎日の中で、少しの「楽しい」「快適」「いいね!」がこの地域から生まれたら、ちょっとワクワクしませんか?

この地域ならではの「特徴」や「暮らし」や「歴史」等を再確認してみても今の生活+αになる未来予想図をみんなでイメージしてみよう!

おやつを食べながらのゆるゆるとした会です。
夕食後(?)のお茶会と思っ、どうぞお気軽にご参加ください!

もちろん参加無料です

■日程：2016年2月27日(土)
■時間：19:30～21:30予定
■場所：湯屋谷会館

【どんなことするの?】

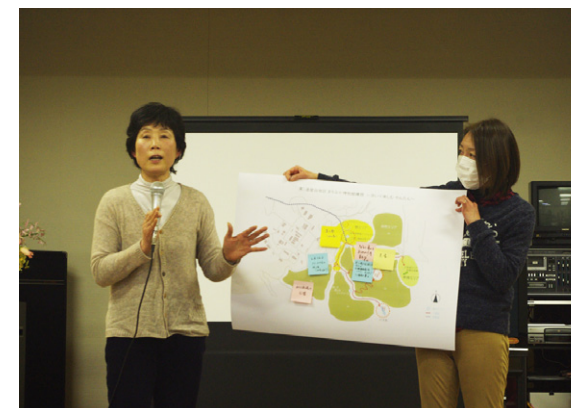
- ▶ この町の好きどころ、嫌いどころ
この町にあったらいいもの、なかったらいいもの 等を考えてみましょう。
(町の中に素敵なブックカフェがあったらいいな! など 希望でもOK)
- ▶ 世の中の動きや、日本の地域はどんな事をしているの? の紹介
(儲かっているシステム、賑わっているシステムなどいろいろあり)
- ▶ ちょっとワクワクする、やんたんの未来予想を描いてみる!

【進行役】
東海大学 建築学科 教授 杉本洋文 Sugimoto Hirofumi

【事務局】
宇治田原町夜場 産業経済課
TEL.0774-88-6638 担当: 谷出
(株)リクルートライフスタイル
じゅらんリサーチセンター
TEL.080-2105-8374 担当: 内田

リクルート
じゅらんリサーチセンター
澤穂正子 Sawayama Masako

▲ワークショップご案内



地域の皆さんの心の中にあった「想い」や「ありたい姿」を全員で共有することができたワークショップ。
地域資源を自らで掘り起し、集客やおもてなしにつながるプランを整理することができた。



NATURE
TOWNSCAPE
LIFE

自然
景観
暮らし

好きなところ
(オススメできるコト・モノ)

- 4つの谷の名前 (西谷・中谷・塩谷・石津女)
- 檜材
- 燈籠
- 西谷の奥
- 風揚げスポット (良い風が吹く)
- 蛸 ● サンショウウオ ● カニ
- 空気 ● 山
- おにぎり山
- 星空
- 茶畑

なりたい姿
(あったらよいモノ・コト)

- 若い人に来てほしい
- 足湯
- 街歩きコースをつくる
- クロスカントリー
- 3カ所の温泉源あり
- 伊賀越え ● 蛸 ● ツリーハウス
- アスレチック ● 宿
- はいじゃこ取り ● 山を利用した公園
- 茶工場の利用
- 気軽に立ちよれる店・お土産店

イマイチなところ
(改善したらよいコト・モノ)

- 道路が狭い
- トイレが不足
- 湯屋谷の玄関口が寂しい
- 冷泉をもっと活用
- 山歩きや足湯
- 交通
- 放置畑
- 鳥獣被害

なりたくない姿
(必要ないモノ・コト)

- 限界集落
- 都会化
- コンビニ
- 鍵の施錠 (生活習慣が変わる)
- 空家が多くなる
- 過疎化

FOOD CULTURE
PRODUCTS

食文化
食材

- お雑煮・白みそ
- 古老柿
- うなぎ釜飯
- うなぎ茶漬
- 酒が強い
- 漬物おいしい

- 道の駅 (村の駅)
- お茶を美容品に
- 葉わさび漬 (お酒好きの方へ)
- 大根の贅沢煮
- お茶漬
- カフェ
- 茶工場でイチゴや花などの水耕栽培

HISTORY
CULTURE

歴史
文化

- 近州音頭
- 地藏盆・燈籠奉納
- 強い仲間意識
- お酒の飲ませたうなぎを流す
- 長福寺
- 弘法大師が温泉を水に変えた
- 土葬・火の玉・お化けスポット
- 化石

- 茶よりさん

EVENT

行事
イベント

- 畑を囲んでお酒飲む
- 12/31 手もみ
- 茶業青年会
- 夏祭り
 - ・朝：川そうじ
 - ・昼：野菜で干支づくり
 - ・夜：燈籠はり、盆踊り
- 大瀧祭

- 茶畑でランプの夜を体験してもらう
- 干し柿づくり教える
- 抹茶の加工体験
- 夜空に風船の様な灯りを浮かべる
- 茶摘み体験
 - ・一番茶は5月
 - ・二番茶は6月
 - ・三番茶は8月
 - ・四番茶は9月 予約制で実施
- 鷲峰山から琵琶湖を眺めてお茶を飲む
- 大滝で発電する
- 地元の夏祭り(秋祭り)を参加型にする



4つの谷を歩いて楽しむ
「やんたん未来プラン」





茶工場跡地 にぎわいづくり像 (茶工場エリアの賑わい)



茶工場跡地 にぎわいづくり像
(茶工場跡外観 足湯エリア)



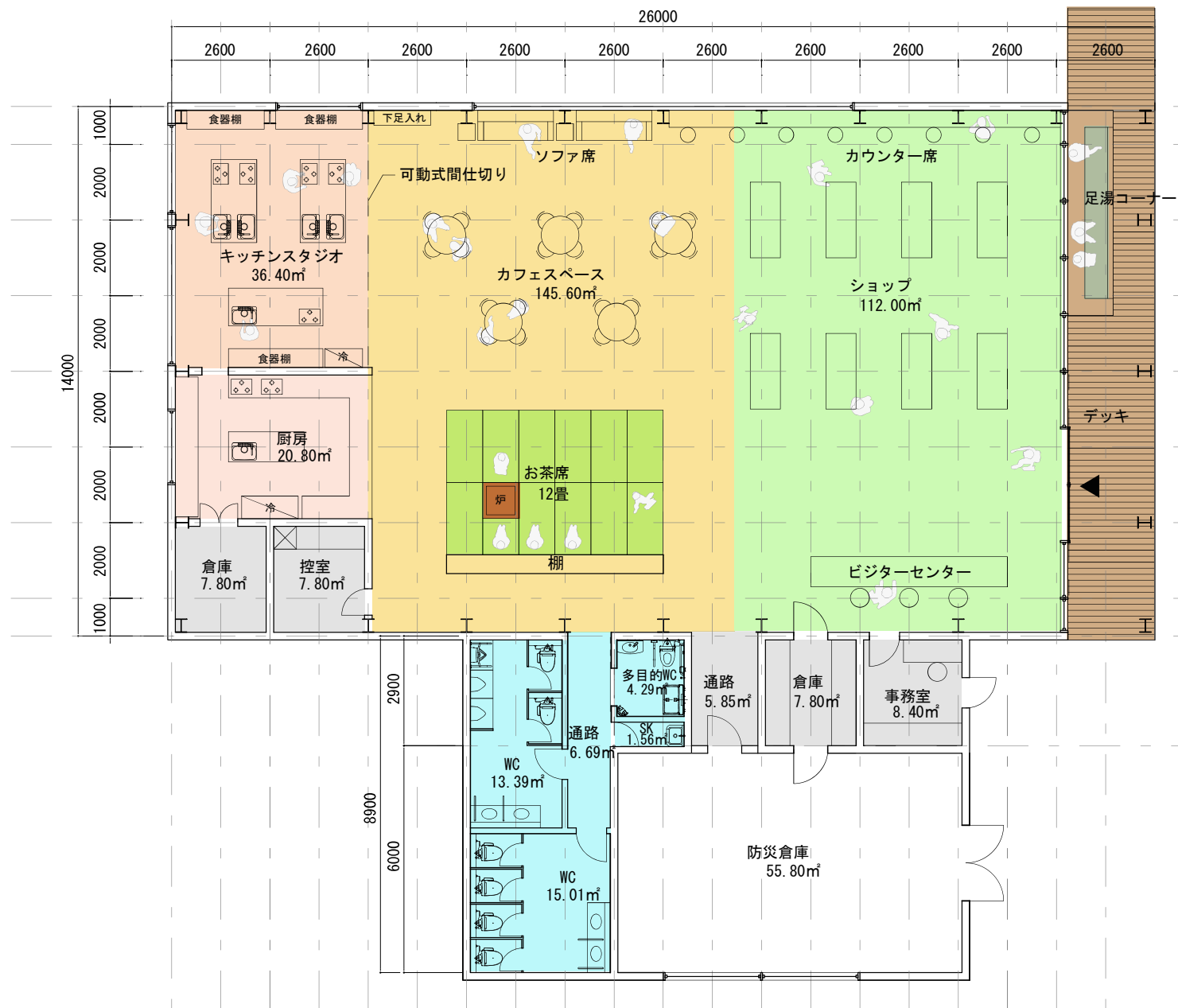
茶工場跡地 にぎわいづくり像
(茶工場跡内観 ビジターセンター、ショップ)



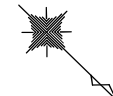
茶工場跡地 にぎわいづくり像
(茶工場跡内観 カフェバー、オープンキッチン、お料理教室)



茶工場跡地 活用平面図



延床面積: 449.19㎡



「ゆんたん未来プラン」のはじめの一步!

ワークショップ内で意見が出た「参加型夏祭り」として灯りイベントや、お漬物などを販売してみませんか？
大がかりではなく、まずはできるコトから手作りで。これらの活性から、きっと明るい未来が見えてきます!

灯りイベント

「ゆんたんでらんたん」



【他地域事例】

▶ なら燈花会 (奈良県奈良市)

奈良公園を中心としたエリアにて1999年より実施スタート。奈良の夏は暑くて集客がなかったが、今では80万人の来客を数える、夏の一大イベントに成長。

★今年、2016年8月5日～14日 点灯時間19:00～21:45

★点火ボランティア募集で活性

★「一客一燈」点火カップ500円で販売(次年度協力金として)

★修学旅行プランあり(奈良に宿泊する学校に限る)

<http://www.toukae.jp/>

物販・プチカフェイベント

「おつけもんゆんたん」



【他地域事例】

▶ 食の乱反射 (奈良県五條市)

1997年「地域の食文化をひろめ残していきたい」という思いで、メンバー8名でスタート。小規模なスタートであったが、今では1000人を超える来場者数に。

★2015年は、11月8日(日)の1日のみのイベント

★地元生産者の主婦が中心となって開催

★イベントをきっかけに地元ネットワークが強まる

★イベントで購入した顧客とのつながり(net販売も)

<http://syokuran.jp/>





ゆしたん
未来プラン

Yuyadani
UJITAWARA
KYOTO